

くにとみちょう 議会だより

No.208

令和8年2月2日発行



町内全小中学校でタブレット端末が更新されました。

本庄中学校1年1組の皆さん

TOPICS

- 12月定例会 …………… 3ページ～
- 一般質問(5人) …………… 5ページ～
- 政務研修報告 …………… 10ページ～
- 議会に寄せられた意見 … 12ページ

10 人や国の不平等をなくそう

9 産業と技術革新の基盤をつくろう

4 質の高い教育をみんなに

GIGAスクール構想により、令和2年度に購入したタブレット端末が5年を経過し、今年度に更新となっている。

R7.6月定例会での審議（全議員賛成により補正予算可決）

児童生徒用タブレット端末更新を組む替えて全て購入

【主な内容】
児童生徒用のタブレット端末更新について、当初予算のリース契約から、財源確保の見込みにより一括購入する予算への組替えを追加計上。
〔近藤智子議員〕タブレット端末購入において、リース契約から一括購入に至った経緯は。

【三好教育総務課長】今年度から創設されたデジタル活用推進事業債により財源の確保が見込まれること、また、一括購入の方が、リース契約に比べ約1000万円経済的であるということで、一括購入に変更した。

R7.9月定例会での審議（全議員賛成により可決）

◇財産の取得(令和7年度小学校タブレットパソコン購入)について

【主な内容】
・購入台数 989台
・購入金額 6964万7358円
・契約の相手方 NTT西日本(株)宮崎支店

◇財産の取得(令和7年度中学校タブレットパソコン購入)について

【主な内容】
・購入台数 477台
・購入金額 3254万1894円
・契約の相手方 NTT西日本(株)宮崎支店



本庄中学校でのタブレット教育

ICT教育の最前線

国富町では、国のGIGAスクール構想*に基づき、児童生徒へのタブレット教育(ICT教育)を積極的に推進しています。

*GIGAスクール構想：1人1台のタブレット端末と高速通信網を整備し、個別に最適化された学びを実現する構想



本庄中学校1年生の声



みずもとみなみ
水元南帆さん



はしこうせい
吐師宏星さん

プリントを写真に撮って、QRコードからアプリや教材にすぐ入れるのが便利です。アンケートもタブレットで簡単に取れるので、意見が集めやすいと思いました。動画は同じ場面を何回も見返せるから、わからないところを確認しやすいです。黒板の板書も撮っておけば、休んだ人にも見せられます。

タブレットが新しくなって、起動が速くてサクサク動くのが一番うれしいです。タッチペンも使えるから、ノートみたいに書きやすいし、画面が大きくて見やすい。回転できるので、資料や動画を見るときも便利です。インカメラとアウトカメラを使い分けられるのも助かります。

議会の視点

誰一人として取り残されないように、議会も教育基本方針に基づき、確かな学力・豊かな人間性・地域連携・ICTの推進を柱に、未来を担う子どもたちの成長を支援していきます。

令和7年第4回定例会では、令和7年度補正予算7件、条例制定等7件、財産取得1件の案件を慎重に審議し、すべて原案のとおり可決しました。また、請願については、原案を不採択としました。

令和7年第4回定例会 議案等の審議結果

議案番号等	件名	結果	
議案第40号	令和7年度国富町一般会計補正予算(第3号)について	可決	全員
議案第41号	令和7年度国富町綾川雑用水管理事業特別会計補正予算(第1号)について	可決	全員
議案第42号	令和7年度国富町国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)について	可決	全員
議案第43号	令和7年度国富町介護保険特別会計補正予算(第2号)について	可決	全員
議案第44号	令和7年度国富町水道事業会計補正予算(第2号)について	可決	全員
議案第45号	令和7年度国富町下水道事業会計補正予算(第1号)について	可決	全員
議案第46号	国富町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	可決	全員
議案第47号	議会の議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	可決	賛成多数
議案第48号	特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例について	可決	全員
議案第49号	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	可決	全員
議案第50号	国富町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	可決	全員
議案第51号	国富町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	可決	全員
議案第52号	国富町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	可決	全員
議案第53号	財産の取得(ホイールローダーの所有権移転付き賃貸借契約の期間満了後の無償譲渡)について	可決	全員
議案第54号	令和7年度国富町一般会計補正予算(第4号)について	可決	全員
令和7年請願第2号	西警察署(仮称)移転計画についての請願 (国富町総合運動公園内への移転計画の是非について、全町民を対象にアンケートの実施を求める請願)	不採択	賛成少数

※1
3号下

※2
4号下

※1

表決表

表決が分かれた議案の名議員の審査結果(○：賛成、●：反対、－：議長)
※議長は、表決には加わりません。

議案名	改正理由	井戸川紀代子	郡一寛	竹田貴紀	石山和真	中村繁樹	日高英敏	山内千秋	武田幹夫	渡邊静男	河野憲次	谷口勝	近藤智子	穂寄満弘
議案第47号 議会の議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	国の人事院勧告に伴い、議員期末手当を0.05か月分増額するもの													-

補正予算可決

一般会計 補正予算 計 4億6,273万6,000円

一般会計総額 111億9,637万8,000円

(主な補正予算の内容)

- ・旧中央体育館解体工事 1億4,267万円
- ・障害児施設給付費 6,001万9千円



主な議案

〔補正予算〕

◇令和7年度国富町一般会計補正予算(第4号)について

障害児施設給付費600万9千円の増額補正

審議の経過(質疑応答)

【近藤智子議員】障害児施設給付費の補正理由を伺う。

【津留福祉課長】障害児の生活能力向上に必要な訓練などに要する費用を給付するもので、下半期以降において放課後等デイサービスなどの利用者が増加しているため、不足する給付費を追加するものである。全体のサービス利用者については、年度当初4月は71人、10月は161人と倍以上増加している。

請願

キニナル
【請願名】
西警察署(仮称)移転計画
についての請願

【請願の要旨】

宮崎県が進めている宮崎西警察署(仮称)の国富町総合運動公園敷地内への移転計画に対し、移転の是非を問う全住民を対象としたアンケートの実施を求めるもの。

【委員会付託】

総務厚生常任委員会

【委員会日時】

令和7年12月12日

【採択結果】

賛成少数により不採択

【本議会での委員長報告】

執行部からは、住民説明会での声、広報紙、ホームページでの意見募集を通じて多様な住民の意向を把握して、反対署名活動も現時点ではないことを確認した。

全町民アンケート調査は

相応の時間を要することなどを考慮し、実施すべきではないとの結論に達した。委員会では、請願は不採択とすべきものと決定した。

【本会議での採決】

(賛成討論)

石山和真議員 アンケート実施により、直接一人一人の声を聞き、その結果を住民の総意とすべき。

(反対討論)

近藤智子議員 多様な意見は理解できるが、これまでの説明会や議会の一般質問等で十分説明がされているため、アンケートは必要ない。

河野憲次議員

反対者からの代替案の提示もなく、運動公園がなくなるわけではない。警察署が起爆剤となり、今後の町の発展に大きくつながっていくと考えている。そのため、アンケートは必要ない。

表決表

※2

表決が分かれた請願の名議員の審査結果(○：賛成、●：反対、－：議長)
※議長は、表決には加わりません。

請 願 名	提出の要旨	井戸川紀代子	郡 一 覚	竹田 貴紀	石山 和真	中村 繁樹	日高 英敏	山内 千秋	武田 幹夫	渡邊 静男	河野 憲次	谷口 勝	近藤 智子	穂寄 満弘
西警察署移転計画についての請願	上記の要旨のとおり													-

※賛成少数により、アンケートの実施を求める請願は不採択となった。

AI活用と 体制整備について

町長 今後、*DXの専門
部署設置を目指す。

*DXとは、デジタル技術を活用
して、仕事の仕方・サービス、
ひいては社会の仕組みそのもの
を変えること

Q 議員 今後の役場内での
AIによる業務改善と人材不
足対策、体制整備の方針は。

A 町長 AI活用は業務効
率化や人材不足対応に必要不
可欠である。定型業務の自動
化により事務負担を軽減し、
創造的な業務や住民対応に注
力できる体制を目指す。専門
人材の確保を課題とし、「DX

推進係」の設置を具体的に検
討していく方針である。

Q 議員 職員アンケート結
果から見えてきたAI活用へ
の意識や期待をどのように受
け止めているか伺う。

A 総務課長 職員アンケー
トの結果は、業務へのAIへ
の期待は高く、今後は全職員
への研修やマニュアル整備を
推進し、文書作成や議事録要
約等の業務効率化を図る必要
性があると感じた。

Q 議員 専門部署設置につ
いて、町長の見解を伺う。

A 町長 国のDX推進方針
に従い取り組むべきだが、最
大の課題は専門人材の確保で
ある。今後1〜2年以内に人
材を確保し、専門部署となる
『DX推進係』の設置を目指し
たい。

議員 役場の業務にかかわる
人件費やシステム費用は、全

て町民からお預かりした大切
な税金から賄われている。A
Iを適切に活用し、今回の議
論を一時的な話題で終わらせ
るのではなく、早急に実際の
組織づくりや人材育成、具体
的な業務改善へとつなげてい
ただきたい。



法華嶽公園の 活用方針について

町長 当面はグラススキー
大会の開催・誘致に全
力を尽くす。

Q 議員 グラススキー場の
再整備の方向性について伺う。

A 町長 当面は大会の開催・
誘致に全力を尽くし、状況を
踏まえて再整備を検討する。
公園の営業形態の見直しや情
報発信により収支は回復傾向。
まずは大会の成功を目指し、
その後将来的な公園の在り
方を判断していく。

Q 議員 法華嶽公園グラス
スキー場の現状について伺う。

A 財政課長 グラススキー
が増収傾向にあるが、周辺施
設利用は減少している。老朽
化も含め今後の在り方の検討
が必要。グラススキー場は情
報発信・収支改善を図りなが
ら芝ゲレンデとして継続を目
指す。

Q 議員 例えば斜面をコス
モス等の花畑として整備し、
散歩道や滑り台、リフトを生
かした、国富町独自の観光ス
ポット化しては。

A 財政課長 リフトの更新

時期もあり、見直しは必要。
花畑の構想も含め収支改善と
共に検討していきたい。

議員 現状としては、法華嶽
公園が十分に活用されている
とは言えない状況にある。町
民に愛される公園として共に
育てつつ、実現性や費用対効
果、運営体制も含めた新規事
業計画をさらなる新たな魅力
づくり・観光戦略となるよう
提案・要望した。



全国屈指のグラススキー場

こおり
かずあき
郡 一貫 議員が問う

生成AI活用について・法華嶽公園の活用方針について



なかむら 繁樹 議員が問う

「宮崎西警察署(仮称)移転計画の是非」についてのアンケートは？ 「アリーナくにとみ」の空調設備は？

する事こそが行政運営として最も大きなりスクと思われるが、見解を伺う。

宮崎西警察署移転の是非を問うアンケートを行わない明確な理由は？

町長 安全、安心を守っていく事業と確信しており、アンケートを取るとはならない。

Q 議員 アンケートを取る事で賛成か反対かを決めるだけでなく、町が何故その判断をしたのかを将来に渡って説明できる様に為す為の証拠作りにもなり、判断を町民に委ねる為の物で無く、判断の責任を引き受ける為住民の声を記録する行為である。賛否が割れる事を恐れるのでは無く、割れる現実を把握せずに判断

きではないか。

Q 議員 今まで行政運営について住民から幅広い意見を聞く為のアンケートを行った事は？

A 総務課長 平成16年2月に市町村合併問題と平成19年1月に八代小統廃合問題にてアンケートを行っている。

議員 やはり地域の問題、交通・財政負担・生活利便性に影響与える政策判断については、アンケートを行っている事が分かった。

A 町長 追加で私も答弁したい。私が答弁の中でも述べたように私は、市町村長として、行政の最高責任者として宮崎県と共に歩調を合わせながら国富の安全安心を守っていくことが重要で、公約でも掲げている。私はアンケートを行う必要は無いと考えており、何も役場が取る必要はない。中村・石山議員が反対者の皆さんにアンケートを取っ

てください。ここまで言われるなら西警察署設置に反対する署名運動をして頂きたい。その上で反対署名等に根拠があり、そういう数字を示せば、アンケートを実施する。

議員 決して私達は反対している訳ではない。県警が自分で見つけた場所に建てるのであれば町民の皆さんは反対しない。運動公園の一部を利用して建設する事に対して、町民の皆さんは税金を払われていて、公園に色んな思い入れもある訳で、町長の裁量も否定していない。みんなの意見を聞いて欲しいと言う町民の声を代弁しているだけである。

町が様々な方法で住民の皆さんの声を聴いてきた事は行政として丁寧な取組と評価する。一方で説明会に参加された方の声と参加されなかった方の声とでは性質が異なる。不安があっても声を上げない方や迷っている方も含め町全体の意向をより丁寧に確認できる住民アンケートが加われば、これまでの取組に厚みが増し、

国スポ会場のアリーナくにとみに空調設備の設置はできないか？

教育長 令和9年開催の国スポに向け、空調設備を常設で整備する方向で考えている。

西警察署(仮称)移転計画 説明会のその後について

教育長 4小学校の校長とPTA役員を対象とした説明会を実施した。

Q 議員 10月27日の説明会で、住民から遊具等について、子どもを交えての意見交換会の要望があがったが、その後の対応は。

A 教育長 まず、学校教育の場では子どもには、法律上例えば「警察署の移転に賛成か反対か」といった特定の政策への賛否を問うことは法に抵触するおそれがある。

一方で、「安全で楽しい公園はどんなところか」や「公園にどんな遊具があったら嬉しいか」といった子どもの生活や環境に関する意見を聞くことは、望ましい教育的な取組である。

このことを踏まえ、11月に町内4小学校の校長、PTA役員を対象とした意見交換会を開催した。

教育委員会としては、遊具について子どもの意見を聞きたいと思うが、その時期については、運動公園の土地売買に関する議決により公園再整備が決定した場合に時期を見て実施したいと考えている。

Q 議員 今後の説明会実施について

A 総務課長 現時点での計画はない。しかし今後、説明した内容が大きく変わる場合、また特別に説明すべき必要が出てきた場合は、実施する考えでいる。なお、説明会開催の有無にかかわらず、町民の皆様への御意見や新たに出てきた懸念事項の意向の把握については、引き続き行っていく。

町長と語ってみる会や私どもへの電話、メール、窓口、いつでもお問い合わせいただきたいと思っている。

議員 今後とも、住民に寄り添った対応を要望した。



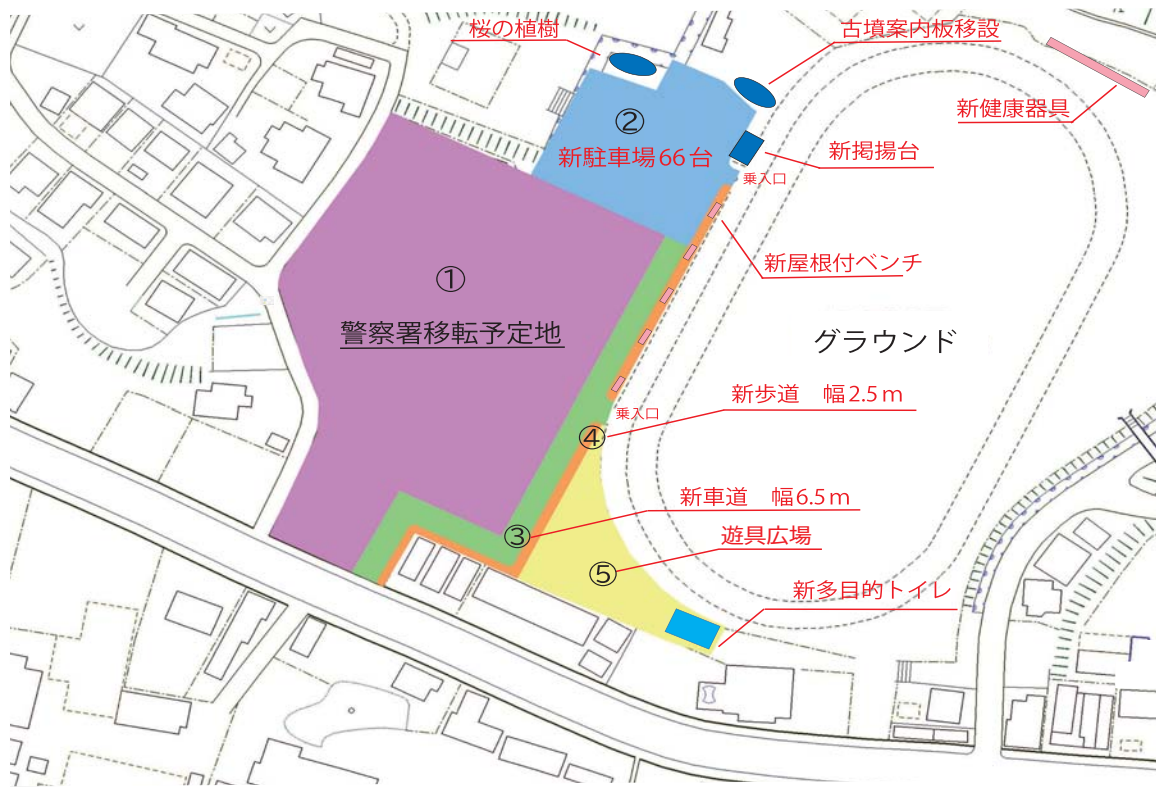
いしやま かずま
石山 和真 議員が問う

宮崎西警察署(仮称) 移転計画について

宮崎西警察署(仮称)

10月27日の住民説明会で下記の整備計画が示されました。

事業進捗 レポート 3



一般質問 町民の声を届ける



近藤 智子 議員が問う

物価高騰対策・国スポ大会・手話講座・不登校児童生徒対策について

必要に応じて検討を進めていきたい。

国スポ大会(フエンスィング)に向けた町の取組について

教育長 専門委員会を設置し、具体的な協議を進める。

物価高騰対策について

町長 早急に支援策を検討し、取組を進める。

議員 物価高騰対応として、「重点支援地方交付金」の具体的な活用は。

町長 燃料費・光熱費の上昇に直面する事業者への支援、地域消費の活性化につながる施策などを検討している。

議員 町民全世帯一応に1万円の商品券を配る思い切った支援はできないか。

総合戦略課長補佐 物価高騰に対する「住民生活支援」や「地域経済の下支え」という目的に一定程度合致する。

議員 不足が懸念される駐車場については。

社会教育課長 隣接の芝生広場を仮設駐車場とし、川南体育館、本庄高校などを臨時駐車場として利用できるよう調整を進めており、シャトルバスを運行する予定にしている。



会場となるアリーナくとみは、空調設備が常設で設置される予定

本町の不登校児童生徒の現状と対策は？

教育長 学校以外の居場所として「かしの木教室」を開設

議員 本町の不登校児童生徒の現状と対策は。

教育長 不登校児童生徒数は年々増加していて、原因は多様化している。学校以外の居場所として

「かしの木教室」を開設するとともに、「スクールソーシャルワーカー」などを配置し、児童生徒や保護者への支援を行っている。

議員 「校内教育支援センター」に設置は。

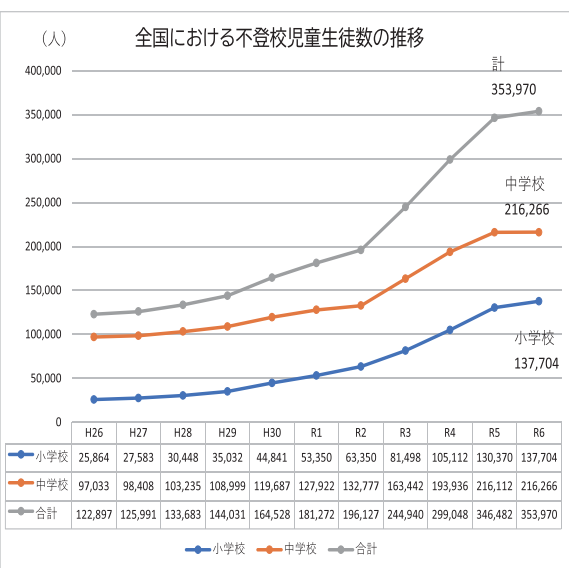
教育総務課長 不登校の未然防止や登校復帰を支援することは必要である。空き教室があり、設置を希望する学校があれば検討する。

手話講座の開設について

教育長 令和8年度に手話講座の開設を目指す。

議員 「リハーサル大会」は、いつ開催されるのか。

社会教育課長 令和8年12月18日から20日まで3日間、「全日本フエンスィング選手権大会」(団体戦)を実施予定である。



引用元：令和6年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査(文部科学省)

本町でも全国とほぼ同様の推移とのことであった。

深年小学校跡地の売却の進捗と外国資本への転売懸念について

町長 早急に売却に向けた手続を開始する。外国資本による土地規制は難しい。

Q 議員 深年小学校跡地の売却に向けて、検討委員会の進捗状況を伺う。

A 町長 旧深年小学校売却検討委員会は、地元住民を14名に増員し協議を継続してきた。8月と11月の委員会で売却方針や条件を説明し、委員全員から売却に向けた同意と購入希望があるうちに、早急

な手続を進めてはこの意見が示された。

Q 議員 検討委員会は早期売却の方向で判断されたとのことだが、今後の売却のスケジュールについて伺う。

A 財政課長 まず深年地区への回覧、さらにホームページでの公募案内を行い、年度内の募集開始を目指している。その後、仮契約を締結し、文部科学省の処分手続を経て

議会の議決を受け、本契約に至る流れであり、全体で約6か月程度を見込んでいます。

Q 議員 売却後に外国資本へ転売される可能性を懸念しており、町としてどのように対策を講じるのか。

A 財政課長 外国資本による土地購入を全面的に禁止することは現行法では難しい。全国的に関心が高い問題であ

るため、今後も国や県の動向を注視していく方針である。

議員 外国資本の土地取得は規制が難しいため、町は透明性の確保と国への要望を通じ、ルールを守らない外国資本へ渡らぬよう慎重な対応を願う。

人口減少・少子化に対応するため地区に「地区の未来を考える会」の設置を

町長 住民の自発的な動きを期待したい。

住民主体の地域づくりを支援してきた。提案の「地区の未来を考える会」は有意義だが、地域ごとに事情が異なるため、町が一方的に促すのではなく、住民の自発的な動きを期待したい。

Q 議員 八代地区の現状は未就学児が急減し、26地区中24地区が10人以下になってい

る。さらに19地区が5人以下という深刻な少子化が進行している状況だ。早急な対策としてモデル地区を設定し、重点的に事業を進めることが有効と思うが。

A 総務課長 区長を通じて地域の皆様からの意見も伺って、支援のあり方について担当課で研究してみたい。

議員 今回、提案するのは地区全体ではなく、特定の地域を対象とした支援体制の構築である。

まず、人口減少・少子化が深刻な地域をモデル地区として約10地区ほど選定する。

そのうえで、国費を活用して集落支援員を2名程度確保し、モデル地区の巡回、課題の整理、提案づくりを支援する体制を整え、行政と住民が協力して地域の将来を築くことが重要ではないかと考える。



仮称「地区の未来を考える会」



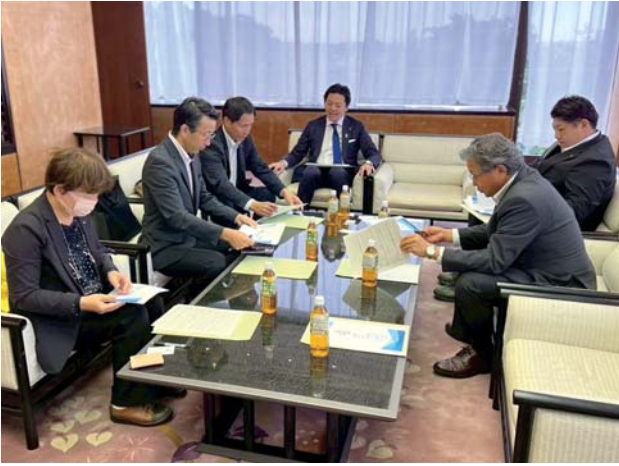
武田 幹夫 議員が問う

地域の将来を守るために地区に「地区の未来を考える会」設置を

政務研修報告

(総務厚生常任委員会)

東京都 渋谷視察(再開発エリア)～国会見学
～A I 勉強会～埼玉県蓮田市役所～
パサール蓮田視察～蓮田市環境学習館
(R 7.10.21～10.23)



埼玉県蓮田市役所にて市議会議員との情報交換やパサール蓮田(I C 周辺開発の大型商業施設)の説明・案内を受けました

【パサール蓮田を通して】

国富スマートインターチェンジ周辺
開発のキーは「地域密着」

今回の政務研修では、国富町においても議論が始まっているスマートインターチェンジ周辺開発を見据え、他自治体の先進的な取組を学ぶことを目的に、埼玉県蓮田市にある「パサール蓮田」を視察しました。

パサール蓮田は、高速道路のサービスエリアとしての機能にとどまらず、地域住民が日常的に利用するスーパーや飲食店、憩いの場としても活用されており、平日・休日を問わず多くの人で賑わっていました。また、防災拠点としての役割も担っており、非常時には地域を支える重要な拠点となるなど、まさに地域に根付いた施設として運営されている点が印象的でした。

あわせて、国会議事堂の視察も行いました。当日は、高市新



蓮田サービスエリアのパサール蓮田(蓮田市HPより)

総理の首班指名選挙の日と重なり、国の重要な意思決定の瞬間に立ち会うという、非常に貴重な経験となりました。国政の現場を実際に目にし、国会議員が大きな視点で議論を重ねている姿に触れることで、地方議員としての責任の重さを改めて実感するとともに、より広い視野、グローバルな視点を持って町政に向き合う必要性を強く感じる研修となりました。

委員の視点

今回の研修を通して強く感じたのは、施設や事業そのものよりも「どう地域に根付かせるか」という視点の大切さでした。パサール蓮田は、商業・生活・防災といった複数の役割を持つことで、人が自然と集まり続ける場になっていました。国富町においても、単なる開発や誘致ににとどまらず、町民の暮らしや安心につながる形での活用を意識し、長い視点で町に還元できる施策として検討していきたいと感じています。



国会議事堂の案内視察

研修参加者(総務厚生常任委員会)

委員長 中村繁樹

副委員長 郡 一寛(今回執筆)

委員 渡邊静男 委員 谷口 勝

委員 近藤智子 委員 竹田貫紀

政務研修報告

(文教産業常任委員会)

東京都 国会議員事務所訪問・要望～国会議事堂
見学～社会福祉法人パステル視察(栃木県小山市)
(R 7. 11. 19～11. 21)

【桑の葉6次産業化のポイント】

地域農家・行政・指導者との連携
他の商品との差別化
農福連携事業



乾燥させた桑の葉を手でつぶす作業を体験



管理が行き届いた桑の畑、桑の葉用と桑の実用で分けて管理されている。

東京都に到着後、渡辺衆議院議員事務所を訪問し、国政選挙区の在り方や衆議院議員削減案の現状、現場を知る地方国会議員の強みなどの意見交換をしました。その後は、渡辺議員の案内で国会議事堂内の視察を行いました。

行政視察では、栃木県小山市へ移動し、桑の葉を用いた農業

と福祉を連携させ、6次産業

化まで行っている社会福祉法

人パステルを訪問しました。

桑の葉畑や各施設の見学を

し、施設では障がい者の方々

が、それぞれできる事を行い

ながら生活をしている日常を

理事長に案内してもらいまし

た。



敷地内のレストランで提供されている桑茶、桑葉のシフォンケーキ、アイス、桑の実のソース

勉強会では、桑の葉の研究者から桑の葉と桑の実のそれぞれの特徴と育成から出荷・販売までの流れの説明を受けました。

パステルの理事長からは、開設から今日の至るまでの経緯を桑の葉の6次産業化のことを中心にお話しを伺いました。

桑の収穫には地域住民が参加し、加工では障がい者雇用を創出され、まさに地域に根差した農福連携を実践されています。

委員の視点

国会議事堂では建物の歴史と豊かな雰囲気を感じ、国会議事堂で仕事ができる事に憧れを感じました。国と地方の違いはあるものの、議員として町民代表であるという自覚をさらに胸に刻みました。

社会福祉法人パステルでの視察では、6次産業化させた理事長の手腕、そしてその障がい者の自立を支援する強い思いを感じました。この成功例は、国富町でも農業・福祉法人・行政との連携で目指せるモデルではないかと感じました。

研修参加者(文教産業常任委員会)

委員長 日高英敏 副委員長 井戸川紀代子

委員 河野憲次 委員 穂寄満弘

委員 山内千秋 委員 武田幹夫

委員 石山和真(今回執筆)

11月号の議会だよりに寄せられた意見

- 1 町民の声を届ける一般質問で私も地元民として国富町へ電話しようと考えていたことなのですが、放課後児童クラブについて宮崎市内では学校の中に児童クラブがあります。
今春小学校にあがる娘が子供の足で児童クラブまで、知らない土地へ歩いて行くのがとても心配です。職場に時短をお願いしましたが、「児童クラブが学校にあるでしょう。」と普通に言われました。子供の心配のために仕事をやめないといけないのかと思ってます。
- 2 新規の農業経営に積極的な支援とあるが、親が高齢で離農し兼業で後を継ぐ場合に農機具の買い換えなどに高価な費用が必要となり、継承に厳しい状況との話をよく聞きます。
後継ぎ兼業農家の支援策も必要ではないでしょうか。
- 3 警察署移転に関する質問事項が、石山、中村両議員より提出された内容に伴う答弁について、熟慮すべき点が多々あります。将来の国富町をどう位置付けるのか、古き良き伝統文化を守り、次世代に引き継ぐにはどうすべきなのか、明暗の分かれる重要な案件です。町民より、長年親しまれている運動公園を、残して頂きたい。他所への候補地を再検討して頂きたい。議員の皆さま、町民の声を大切に受け止めるとするならば、先だつての、住民説明会での声を真摯に受け止め、議会の審議に活かして頂きたく、切なる要望を致します。
- 4 宮崎西警察署移転計画について、多くの町民から歓迎する声が聞かれたとありますが、反対する人の方が多いように思います。

議会の動き

令和7年12月22日から
令和8年3月2日まで

12月22日	○第3回社会福祉協議会理事会
24日	○国富町農業振興対策協議会
令和8年 1月5日	○仕事始め式 ○新年賀詞交歓会
10日	○消防始め式
11日	○はたちの成人式式典
16日	○広報特別委員会 ○令和8年新春子どもの声を聞く会
19日	○文教産業常任委員会所管事務調査（熊本県）～20日
23日	○東諸県郡議員研修会（綾町）
26日	○議会運営委員会 ○東諸県郡議長会・町長会合同研修会
28日	○令和8年第1回臨時会
29日	○県町村議会議長会全議員研修会〔時局講演会〕（宮崎市）
2月18日	○県町村議長会定期総会・研修会
26日	○議会運営委員会
3月2日	○令和8年第1回定例会

議会だより意見箱



より良い議会だより、まちづくりのために
皆さんの意見をお聞かせください。

意見は、グーグルフォーム
で受け付けます。右のコード
を読み取り、入力してく
ださい。



次の定例会は

3月2日開会予定です！

お気軽に傍聴に来てください。

問い合わせ先：議会事務局 75-3111(内線 282)

今回の議会傍聴者延べ人数



編集後記

国富町に生まれ育ち、改めて「地元愛」とは何だろうと考えました。無条件に地元を愛する気持ちも大切ですが、距離が近いほど良さに気づかず、当たり前になっていくことも多いと感じます。ないものを無理に魅力として打ち出すより、実は見過ごしてきた価値が町にはあるのかもしれない。議会だよりを通して町民の皆さんと向き合い、対話を重ねながら、私たちのふるさと国富町の魅力をもっともつと発信していきたいと思えます。何かが始まりそう！これから楽しみ！と思える国富町を皆さんと一緒につくっていきたくと考えています。(一覚)

— 広報特別委員会 —

- 委員長：日 高 英 敏
- 副委員長：竹 田 貴 紀
- 委員：井戸川 紀代子
- 委員：郡 一 覚
- 委員：石 山 和 真
- 委員：中 村 繁 樹